

第117回運営委員会概要 7月11日(水) 18:30~21:35

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 2F研修室
- ◆出席運営委員：新野・川口・佐藤(正)・三宮・竹内・武本(和)・徳永運営委員  
・・・7名
- ◆出席委員：武本(昌)・・・1名
- ◆オブザーバー：保安院／飯野所長・黒澤副所長・吉村検査官 エネ庁／磯部所長  
柏崎市／関矢係長・野澤主任  
東電／長野副所長・西田技術担当・佐野課長・椎貝副長
- ◆事務局：広報センター／須田業務執行理事 石黒主事

チラシ配布依頼の取り扱い、長岡技科大からの依頼について

- 〈議長〉地域の会宛に、「原発の新潟県民投票に向けて」というチラシ配布をお願いしたい主旨の文書が送られてきた。副会長と相談したが、一団体からの依頼であり、運営委員会には諮るが定例会で協議する内容ではないという対応をしたい。
- (委員了解)
- 〈議長〉長岡技術科学大学からの依頼。原子力安全を専門的に学ぶコースが開設された。その中で、高専生に向けたリスクに関する技術コミュニケーション論の講義(8/23)に地域の会へ協力依頼がきている。半日でグループディスカッション形式で行う内容だがどうか。
- 〈委員〉学生の勉強ということでいろいろな人から意見を聞きたいということであれば協力してもいいのではないか。
- 〈議長〉運営委員の中で、都合のつく方から参加していただくことで地域の会として参加することでよいか。
- (委員賛成)
- 〈議長〉では運営委員の中から参加者を募り、地域の会として受けることとし、一般委員に報告したい。

研修視察について

- 〈議長〉「おだがいさまセンター」は何人くらいの方と意見交換できるか。
- 〈柏崎市〉富岡町の総務課、企画課、住民の方、センターの方、多くても4、5人と思う。
- 〈議長〉原子力災害対策本部の視察について報告はあるか。
- 〈保安院〉最初にオフサイトセンター内を見ていただき、会議室にて現地対策本部の当時の対応状況、現状の報告のあと、意見交換をする予定。そのあとに福島県より当時の対応状況、現状などを報告いただき、意見交換の予定。地域の会から寄せられた質問事項は送付してあるので、共通認識として説明の中に盛り込まれると思う。
- 〈議長〉バスの中で運営委員を中心に、視察先や地域のことについて話をして、雰囲気作りをしてほしい。
- 〈委員〉会の成り立ちなども話してほしい。
- 〈議長〉最初の挨拶はしたい。
- 〈委員〉視察先へ質問事項は届いているのだから、まずは相手の話をよく聞くというスタンスを持つことが大切。その上で質問があればすることにすればよい。
- (委員賛成)
- 〈議長〉前回、市から提供いただいた住民への聞き取り調査資料を研修時に持ってくるように委員にお知らせした。
- 〈柏崎市〉前回富岡町のダイジェスト版を当日用意するよう地域の会から依頼を受けている。

〈議長〉視察後に提出する感想文用の用紙を事務局から当日委員に配ってほしい。  
(事務局了解)

次回以降定例会の内容について(8月、9月、10月)

- 〈委員〉防災の議論について、国や県、市の方針がはっきりしてから議題に上げたほうがいいのではないか。
- 〈委員〉国の防災指針が確定するのはいつか。
- 〈保安院〉指針は新組織ができてから。9月以降になると思われる。
- 〈委員〉県と市の防災計画ができてからでないと議論はできないのではないか。
- 〈委員〉決まったものに対して議論をしても意味がないのではないか。決まる前に住民の声として議論をして伝えることのほうが重要ではないか。
- 〈委員〉決まる前の議論、決まってからの住民の意見や要望、これは両方必要だと思う。
- 〈委員〉国会事故調の報告書、国の報告書など、東京電力が資料を提出して説明したのだから、せめて資料は同じように見ることができないか。
- 〈委員〉国に説明を求めるのは難しい。質問があっても答えられる立場の人もいない。しかし資料が揃うことで同じ目線で焦点を絞り見比べることはできると思う。
- 〈委員〉報告書を見比べて、委員同士が意見を述べ合い、東京電力に対しては質問ができる。
- 〈議長〉地域の会はもともと統一見解を求める会ではないので、委員同士が意見を出し合い、いろいろな意見や見方をお互いに知ることができればよい。
- 〈委員〉報告書はかなりの枚数になるが、委員分を用意することはできるか。
- 〈柏崎市〉地域の会として正式な請求があれば国会事故調の写しは用意できると思う。
- 〈議長〉かなり枚数が多いとは思いますが、次回定例会の前に参考資料として提供してほしい。  
(委員賛成)
- 〈委員〉資料をもとに報告書を見比べながら8月、9月と委員から意見を聞いたり、東京電力へ質問するという内容がよい。  
(委員賛成)
- 〈東京電力〉前回、事故報告書の説明をさせていただき、委員より質問を受けている。それに回答したいので、次回定例会の中で少し時間をいただきたい。
- 〈委員〉前回定例会の中でも言ったが、今の状況で必要以上に、東京電力の釈明や意見を述べるための時間を、地域の会で取るのは遠慮してほしい。文書で回答するなど工夫して、「前回定例会以降の動き」の中で最小限に抑えるべき。
- 〈委員〉しかし、委員から受けた質問は回答としてきちんと説明を聞いておきたい。
- 〈議長〉回答は「前回定例会以降の動き」の中で盛り込み、他にも質問がある場合は、報告書への意見や質問の中でさらに答えていただくことでよいか。  
(委員賛成)

視点55号内容について(第107回、108回定例会分)

- ・SPEEDIのシステム図をもう少し見やすくなるよう工夫する。
- ・事務局案をさらに委員で確認、言い回しなど細かな改善を行い校了。

【決定事項】

〈8月定例会タイムスケジュール(案)〉

18:30～19:20 前回からの動き(東京電力、保安院、エネ庁、行政)

19:20～20:20	研修視察の報告、感想
20:25～21:15	事故調報告書（国会、政府、東京電力）について意見聴取
21:15～	その他

今後の日程について

研修視察（福島）	7月18日（水）日帰り
第110回定例会	8月 1日（水）18:30～
第118回運営委員会	8月23日（木）18:30～
第111回定例会	9月 5日（水）18:30～
第112回定例会	10月 3日（水）18:30～